

〔科目名〕 計量経済学	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕 専門・基幹科目
〔担当者〕 大矢奈美	〔オフィス・アワー〕 時間: 学期開始時に連絡します。 場所: 研究室(523)	〔授業の方法〕 講義および実習
〔科目の概要〕 観測されるデータに基づき、統計的な手法を用いて経済理論仮説を検証する、あるいはデータに含まれている事実を取り出すのが計量経済学である。つまり、ミクロ経済学、マクロ経済学などの理論から導かれる様々な仮説を現実のデータを使って検証し、実際の経済に応用する学問分野であると言えることができる。コンピュータが発達した現在では、難しい数学や統計手法をあまり意識せずに簡単に計算することが可能になっており、経済学の基礎分野として政策決定の場においても活用されている。また、その手法は、経済学にとどまらず、広く経営学や社会学などにも十分に活用できるものである。 この授業では、計量経済学の入門編を中心に取り扱い、かつ実践的な計量経済学を学ぶことを狙いとした。このため、Excel による実習を数回おこなう予定である。 ただし、統計ソフトを使って計算結果を出すことが目的ではない。計算式を記憶して計算することを目的とするのでもない。ここで扱うのは、人間の経済行動を記述しようと努めてきた経済理論であり、人間の経済行動の結果をあらわすデータである。単に機械的にデータを操作し計算するのでは、誤った解釈をしかねず、無意味な結果を導くことにもなりかねない。我々人間の問題意識と、経済学的なものの見方が必要な分野である。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 計量経済学では、これまで学んできたミクロ経済学やマクロ経済学などの理論を基に、モデルを作り、データを使って分析し、その整合性を検証する。つまり、計量経済学を学ぶことは、経済理論と現実の関係を考え、理論を政策などに応用させる力を養うことになる。 また、統計学で学んだ各種の統計量や考え方は、労働経済学、ファイナンスなどでも頻繁に使われるものである。計量経済学はこれらを基本とするので、結果として反復練習の機会を提供することにもなる。数理的・論理的・統計的なものの見方を身につけることにつながるものだといえるだろう。 なお、この授業の次のステップとして、3年次春学期開講の「実証経済分析」が用意されている。是非、受講して欲しい。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 基本的な統計量、推定および検定の概念についてしっかり理解すること。 統計ソフト等を使って計算された結果を読み取ることができるようになること。 〔最終目標〕 問題意識に基づいて仮説を立て、どのデータを使い、どのように実証すれば良いのか判断する力を身につける。 経済理論と計量経済学の関係について理解を深める。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 特に改善を求める意見はなかったが、これまでのコメントでは、T.A.による実習サポートや、期末レポート作成のためのオフィス・アワーが良かったというものが多い。 期末レポートは、自分の問題意識に基づいて仮説を立て計量分析によって検証するという内容である。ここで求められる力は、大学生としてだけでなく、社会人としても不可欠だと考える。今年度は調整期間を活用して期末レポートの作成を進め、オフィス・アワーやメールを使った指導をおこなうようにしたい。 またパソコンを用いた実習を行う際には、PC の台数という制約がある。よって、昨年度同様に定員を設け、受講生各人への指導を充実させる。実習については、今年度も T.A.によるサポートを予定している。		
〔教科書〕 ・田中隆一『計量経済学の第一歩 -実証分析のススメ』有斐閣, 2015 年		
〔指定図書〕 ・唐渡広志『44の例題から学ぶ計量経済学』オーム社, 2013 年		

〔参考書〕 ・ 縄田和満 『Excel による回帰分析入門』 朝倉書店 ・ 白砂堤津耶 『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』 日本評論社 ・ 加納悟・浅子和美・竹内明香 『入門 経済のための統計学』 日本評論社	
〔前提科目〕 統計学，経済統計，ミクロ経済学，マクロ経済学，情報リテラシーⅠ	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) ①確認のための小テスト (30%程度) ②パソコン (Excel 等) を使った計量分析の小レポート (20%程度) ③期末レポート (50%程度) 提出前に相談期間をもうけて、理解と完成度を高める指導をする。	
〔評価の基準及びスケール〕 上記の合計点の80%以上をA，70%以上80%未満をB，60%以上70%未満をC，50%以上60%未満をD，50%未満をF とする。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 毎回毎回の積み重ねが大切な科目です。授業スケジュールは、あくまでも目安であり、受講者の理解度によって、例年多少の変動があります。やむを得ず欠席する場合は、早い時期に配布資料を受け取って自習することをお勧めします。実習についていけなかった箇所、理解できなかった内容については、次回に持ち越さず、オフィス・アワーなどを利用して早めに質問するようにしましょう。 この授業は出席をとりません。授業に参加する意欲のない受講生に対して意欲を喚起するような特別な取り組みもしません。この授業からどれだけのものを得るかは、皆さん次第です。 最終レポートは、受講生各自の問題意識にそって仮説を立て、自分でデータを探して計算し、その結果を評価して仮説に対する答えを導くという内容を予定しています。詳細は後日説明しますが、作成に当たっては個別の相談を受け付けています。締め切りギリギリになってから始めたのでは間に合いません。<u>時間に余裕をもって (少なくとも締め切りの10日以上前に)</u>、課題に取り組んでください。 また、以下のスケジュールは、本シラバス作成時点 (7月12日) のものです。状況によって、授業形態や課題の内容等が変更になることもありますので、十分に注意してください。重要な変更はポータルサイトなどでもお知らせします。(12月の調整期間は主に期末レポートの作成にあてます) 授業には、電卓を持参してください。	
〔実務経歴〕 該当なし	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第1回	テーマ (何を学ぶか) : ガイダンス, 統計学の復習 内 容 : ガイダンス (計量経済学とは何か) / 復習・統計学 (1 : 記述統計-1) 教科書・指定図書 第1章および第2章
第2回	テーマ (何を学ぶか) : 内 容 : 復習・統計学 (2 : 記述統計-2, 確率論-1) 教科書・指定図書 第2章および第3章
第3回	テーマ (何を学ぶか) : 内 容 : 復習・統計学 (3 : 確率論-2) 教科書・指定図書 第3章
第4回	テーマ (何を学ぶか) : 内 容 : 復習・統計学 (4 : 確率論-3) 教科書・指定図書 第4章

第5回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 復習・統計学（5：統計的推論－1） 教科書・指定図書 第4章
第6回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 復習・統計学（6：統計的推論－2） 教科書・指定図書 第4章
第7回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 復習・統計学（7：統計的推論－3） 教科書・指定図書 第4章
第8回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 復習・統計学（8：統計的推論－4） 教科書・指定図書
第9回	テーマ（何を学ぶか）：単回帰分析 内 容： 単回帰モデルと最小2乗法（1） 教科書・指定図書 第5章
第10回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 単回帰モデルと最小2乗法（2） 教科書・指定図書 第5章
第11回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 単回帰モデルと最小2乗法（3） 教科書・指定図書 第5章
第12回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 第5章までの復習とまとめ <u>確認のための小テスト</u> 教科書・指定図書 第5章
第13回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： Excel を使った実習 教科書・指定図書
第14回	テーマ（何を学ぶか）：重回帰分析 内 容： 実習の解説 重回帰分析（1） 教科書・指定図書 第6章
第15回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： Excel を使った実習 教科書・指定図書 第6章
第16回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 実習の解説 重回帰分析（2） 教科書・指定図書 第6章
第17回	テーマ（何を学ぶか）：回帰分析の検定 内 容： 回帰分析の検定（1）－最小2乗推定量の分散，t 検定 教科書・指定図書 第6章

第 18 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： Excel を使った実習 教科書・指定図書 第6章
第 19 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 回帰分析の検定（2）－複合仮説検定 教科書・指定図書 第6章
第 20 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容：実習内容の確認と、まとめ 教科書・指定図書
第 21 回	テーマ（何を学ぶか）： 回帰分析の応用 内 容： 重回帰分析の応用（1）－変数の単位、2乗項 教科書・指定図書 第7章
第 22 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 実習の確認と解釈 重回帰分析の応用（2）－ダミー変数 教科書・指定図書 第7章
第 23 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 重回帰分析の応用（3）－ Chow 検定 教科書・指定図書 第7章
第 24 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： Excel を使った実習と解釈 教科書・指定図書
第 25 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： Excel を使った小レポート データの入力と推定 教科書・指定図書
第 26 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： Excel を使った小レポート 検定と解釈
第 27 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 期末レポートの準備 問題意識の作成 教科書・指定図書
第 28 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 期末レポートの準備 データ収集 教科書・指定図書
第 29 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 期末レポートの作成 推定・検定と結果の確認 教科書・指定図書
第 30 回	テーマ（何を学ぶか）： 内 容： 期末レポートの作成 問題意識への回答
試 験	指導をうけた上で提出される期末レポートを「期末試験」とします。